

市民から直接回収
「みんなのマイボトル」の取組について

男山株式会社 山崎五良

2026年4月17日

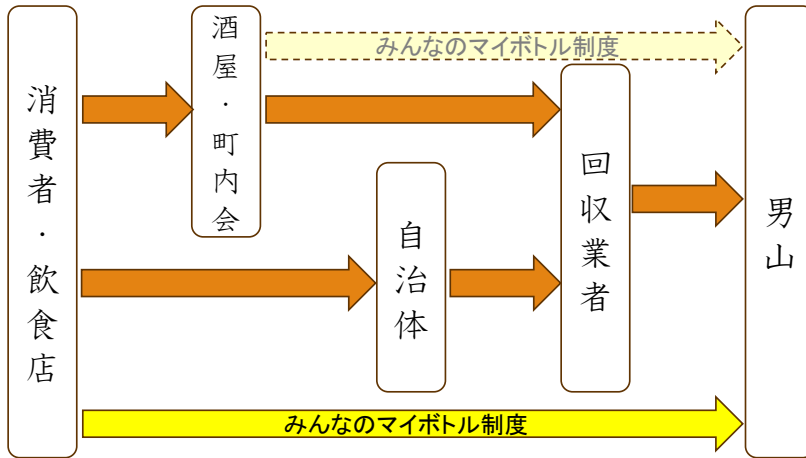
おとこやまかぶしがいしや		地域未来牽引企業の紹介 ページをもとに作成		選定地域	北海道
男山株式会社					
業種	製造業				
本社所在地	北海道旭川市永山2条7丁目1番33号				
事業概要					
<p>【基本情報】 代表者： 代表取締役社長 山崎 與吉 設立年： 1887年 資本金： 39百万円</p> <p>【概況】 ○弊社は、1887年に山崎酒造として札幌市に設立し、1899年に陸軍第七師団創設に合わせ市街地開発が始まった旭川に移転しました。清酒製造業は勿論のこと、1968年には男山酒造り資料館を、2024年にはOTOKOYAMA SAKE PARKをオープンし、旭川の観光名所の1つとなっています。</p> <p>【特色】 ○旭川市内で最も歴史のある企業であり、地元に着目した経営を強く心掛けています。また、1980年代から輸出を開始しており、輸出比率は約20%となっています。2019年にはFSSC22000を取得するなど、安全面にも力を入れています。</p> <p>【今後の展開】 ○SDGsを意識し、回収瓶（リサイクル瓶）のより積極的な利用など、環境面に配慮した商品設計・経営を目指します。また、観光施設として来館者の満足度を高められるよう日々見直し、チャレンジしていきます。</p>					
			 <p>男山の本蔵と併設する男山酒造り資料館</p>		
			 <p>旭川の繁華街である「さんろく街」</p>		

みんなのマイボトル制度

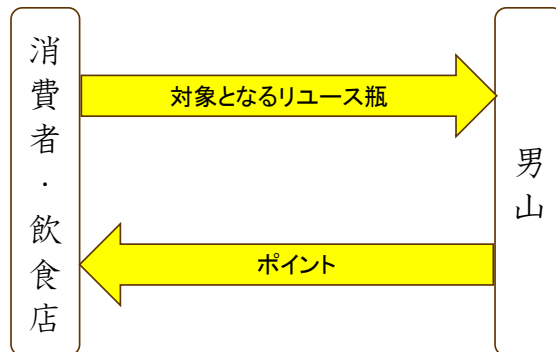
背景

- ・コロナ禍による1.8L瓶の製造工場の休止による瓶不足
- ・リユース意識の高まり
- ・回収事業市場の縮小(回収瓶が入手しづらくなってきている)
- ・自社で洗瓶機を所有する強み(2016年10月)

回収瓶の流れ



みんなのマイボトル制度

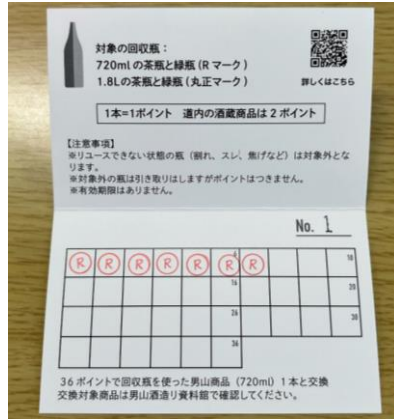


ポイントが貯まったら、商品(リユース瓶使用)と交換

みんなのマイボトル制度



- ・対象のリユース瓶1本につき1ポイント
- ・北海道の酒蔵商品は2ポイント
- ・36ポイントで720ML商品と交換
⇒貯まったポイントカード2枚で1.8L商品と交換



みんなの my bottle 男山

男山の一升瓶は90%が回収瓶
一升瓶は、もともとみんなのマイボトル。
私たちはこの資源循環の仕組みを継続していきたくと考え、「みんなのマイボトルメンバー制度」を開始しました。

対象の回収瓶：
720mlの茶瓶と緑瓶 (Rマーク)
1.8Lの茶瓶と緑瓶 (丸正マーク)
※リユースできない状態の瓶は対象外

1本=1ポイント
道内の酒蔵商品は2ポイント
36ポイントで男山と交換
回収場所は男山酒造り資料館1階
初回の回収時にメンバーズカードをお渡しします。

詳細は、
男山公式サイトへ

みんなのマイボトル制度

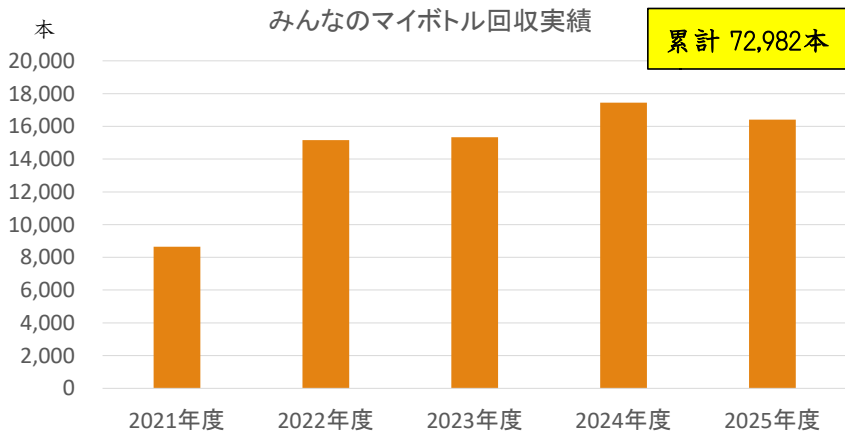


2021年7月16日 読賣新聞



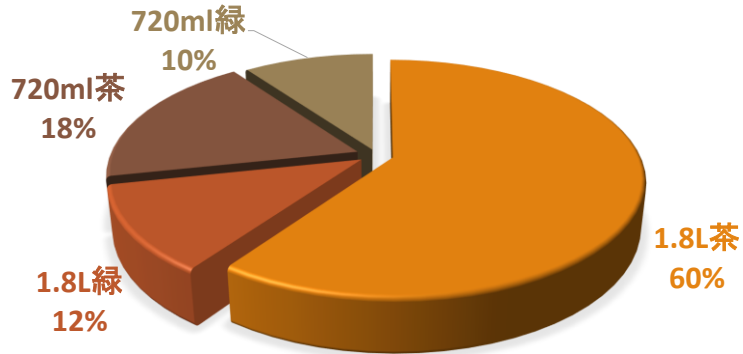
2021年9月8日 北海道新聞

みんなのマイボトル制度



みんなのマイボトル制度

容器別の内訳



みんなのマイボトル制度



令和6年度
「リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞」を受賞

今後の課題

- ・720ml回収瓶の不足
- ・札幌からの回収ルート確立
- ・FSSC22000との両立

※FSSC22000:国際的な「食品安全の仕組みづくり」の認証規格

The Nature in Hokkaido makes SAKE of OTOKOYAMA

現在の日本酒の根柢が作られたのは江戸時代。酒造りは自然との共生がなければ成り立たない伝統産業です。男山が受けている自然の恩恵、環境への負荷が少ない持続可能な酒造りを紹介します。

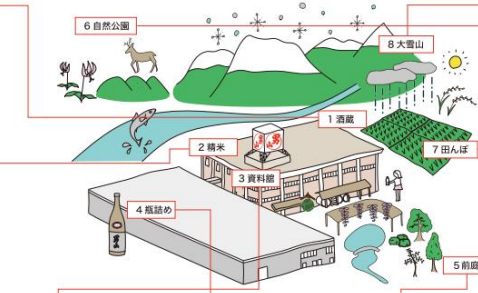
1. 酒蔵

酒造りの工程で、唯一固形として残るのが酒粕です。男山では甘酒にしたり、ご家庭の料理などにも使えるためそのまま販売もしています。



2. 精米所

日本酒造りには、玄米の外殻を削り取って磨き上げた白米を用います。精米した後に残る「米ぬか」は、菓子原料、飼料、米油の原料などに使用されます。



8. 大雪山の万年雪

男山のたけふみ水は大雪山の万年雪が溶み出る伏流水です。資料館前でほろの仕込み水を無料で開放しています。



7. 田んぼ

酒造好適米という、日本酒造りに適したお米があります。「山田錦」が代表的で、北海道では「吟風」「きたしずく」「慧星」などが栽培されています。



3. 資料館

男山酒造り資料館ではリユース瓶を回収しています。男山の1号瓶の99%は回収し、昔からあるガラス瓶のリサイクル文化を継続しています。



4. 瓶詰め工場

回収瓶を活用するために、洗浄・検査する設備を保有しています。CO2の排出量が少ない天然ガスを用いて、洗浄、充填、ラベリングまでを行っています。



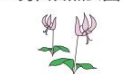
5. 前庭

北海道の四季を感じられる日本庭園。ひょうたん池では鯉の稚りや体験することができます。5月には鯉のほりを飾り、冬には雪像やチューブ滑り用の雪山を作っています。



6. 男山自然公園

男山が所有する男山自然公園は男山の南端に位置する標高220mの丘陵地帯です。道内最大級のカクタリの原生花園があり、毎年4月頃に無料で一般公開しています。



ご清聴ありがとうございました。

何かご質問等ございましたらいつでもお気軽にご連絡ください。

goro-yamazaki@otokoyama.com